



2月

高原だより

通巻180号

阿毘縁むらづくり協議会/阿毘縁自治会

1月23日(土)むらづくり懇談会を町長・副町長・教育長・企画課課長・企画課職員の方に出席いただき開催しました。地元出席者14名でした。

今回は「公共交通について」のテーマで意見交換を行いました。

先ずは、生田会長がこのテーマを決めた経緯と「公共交通」の現状と課題として発言、町長が町行政の「公共交通」の取組等について説明され、その後参加者の意見や町からの答弁がありました。

以下紹介します。

参加者より

奥出雲町横田が経済圏の阿毘縁地区にとって横田線バスの確保をお願いしたい

町行政より

昨年取り組んだ福栄線於ける「ドアトゥードア」玄関から目的地までのデマンドバスの運行をさらに検証し町全域に広げて行けるように取り組んでいる。

むらづくり協議会役員より

地域内の共助交通システムはできないか

その他自由意見

JA 店舗の改革が進んで利便性が失われる現状だが、すべて利益重視でサービスを縮小していくのは如何なものか。などさまざまな意見が出ていました。

今後、阿毘縁むらづくり協議会では地域共助交通について考えて行こうと思っています。

コロナ差別について

町政懇談会に於いて「コロナ感染に伴う人権被害について」質問をしたところ、感染状況の報告について、当初からの報告の在り方を検証して発表の仕方を変えるなどして県の対策が見られるが、コロナの発生状況について町などの地域行政は全ての情報を把握していないのが実情である。町としては人権教育などで啓発を行い対策しているが、各自治会でも啓発をお願いしたいとのことでした。

新型コロナウイルスの病気そのものも怖いのがコロナ差別という人権被害が怖いという人が相当数あるようです。誤った情報であおり被害もある状況下で、たとえ本当であっても知らせる必要のない情報もあります。自分の言動によってどれだけの人々が悲しい思いをするのか、私たちの倫理観、道徳観が試されています。自分の身に振り返ってこのコロナ差別について考えてみましょう。もはやどこでも誰でも感染する可能性が有る病気なのです。感染対策と予防を実施して、誹謗中傷ではなくて共感、協調と助け合いの姿勢で行きたいものです。皆様のご協力をお願い致します。

役員会の報告

*5か年計画は、皆様の意見をもとに現在まとめをしております。

*総会について3月14日（日）午後1時30分より

新型コロナウイルス感染防止の為、開催方法は例年とは違う形で
行います。詳しくは次号に掲載します。

*町補助金で除雪機を購入しました。

（利用規約は追ってお知らせします。）



協議会活動記録

【1月】

- 15日 会長・副会長会
- 19日 文化学習部部会
- 23日 おらづくり懇談会
- // 役員会

これからの予定

【2月】

- 19日 役員会

